



平成23年1月5日

平成22年中の救急出動件数が過去最高を記録

～ 迷ったら救急相談センター #7119 ～

昨年中の東京消防庁救急隊の出動件数は700,808件（平成22年4月に事務委託となった東久留米消防署管内の出動件数3,489件を含む。速報値）で、これまでの最多である平成17年の出動件数699,971件を837件上回り、救急業務を開始した昭和11年以来、過去最高となりました。

出動件数増加の背景としては、猛暑による熱中症等の増加や高齢化の進展による高齢者の搬送人員が増加したことが挙げられます。

また、救急搬送された傷病者が軽症（初診時程度）だった割合は、平成18年の60.3%をピークに減少しており、東京消防庁救急相談センター（以下、救急相談センター）が救急車の適正利用に対し一定の役割を果たしていることが推察されます。この救急相談センターで受け付けた救急相談件数は、平成19年6月1日の運用開始から年々増加し、昨年中は66,750件（医療機関案内等を含む受付件数292,876件）となりました。

東京消防庁では、増大する救急需要に適切に対応するため、救急搬送トリアージの実施や救急相談センターの利用促進等、救急車の適正利用について呼びかけるとともに、都民の安心・安全のための施策を継続していきます。

1 救急車の適正利用

救急車を呼ぶかどうかの判断に

迷ったときは、

「救急相談センター（#7119）」
をご利用ください。

2 過去年間救急出場件数記録

1位 平成17年 699,971件

2位 平成19年 691,549件

3位 平成18年 686,801件

3 年間救急相談件数及び軽症率の推移

年	年間救急相談件数	軽症率
平成20年中	34,208件	58.3%
平成21年中	52,940件	56.7%
平成22年中	66,747件 (速報値)	54.9% (速報値)

※ 軽症率＝全搬送人員に占める軽症者の割合

※ 参考 平成17年の軽症率 60.0%

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

「病院へ行った方がいいのかな？」
「救急車を呼んだ方がいいのかな？」 **迷ったら**

東京消防庁救急相談センター 24時間対応
年中無休

#7119

つながらない場合は…

23区 03(3212)2323

多摩地区 042(521)2323

問い合わせ先

（東京消防庁（代） 電話 3212—2111
広報課報道係 内線 2345）

